



## 野生キノコのつくり方 講習会

2017  
11/19(日)



### 講師紹介

こんな人におすすめです!

- ①キノコの見分け方のコツを知りたい
- ②正しい柴掻きの方法を知りたい
- ③茶色のキノコは食べてもOKだと信じている



藤原祥雄 50歳 新潟県出身  
長野県まつたけ山管理士1級

食欲の秋! 秋の味覚と言ったら「キノコ」! 収穫を夢見て、教科書通りに落ち葉かき(柴掻き)をしたらキノコができなくなった!!! それはマツタケやコムソウなどの野生キノコはそれぞれ住みやすい環境が違うからです。コムソウは「肥えたところ」に住んでいるので、柴掻きをすると出来なくなります。あなたの山の特徴を生かして、お目当ての野生キノコが住みやすい手入れをすれば、山に行く楽しみが倍増します。

26歳の時、トレッキングガイドのプロを目指しニュージーランドへ。このとき、日本文化を説明出来ない自分に落胆。帰国後、西岡常一氏著書「木に学べ」(小学館)に出会い、日本文化は「木の文化」であることを知る。木の癖を見抜き、それを長所として活かすことに感動し、木に携わる仕事を志す。家具製作の基礎を学んだ後、元信州大学教授 島崎洋路氏に弟子入り。そこでKOA森林塾の講師補助になり、講師業と現場技術者の2つの仕事をするようになる。講師の仕事は「教えること」ではなく、「理解してもらうこと」理解とは講師がいなくても上手くできること。これを座右の銘に、「教え方」教える内容「教える順番」の研究・実践をしている。ツリーワークを志す若者の才能を伸ばして仕事場に「笑顔」をつくることが私の使命。

- 【内容】
- ・キノコが生育しやすい手入れ方法① 光環境
  - ・キノコが生育しやすい手入れ方法② 土環境
  - ・お目当てのキノコはどんな場所が好き
  - ・キノコは実?花?
  - ・なぜマツタケは人工栽培ができないの?

- 【日程】 2017年11月19日 9:00~16:30 雨天中止
- 【集合】 朝8:45 伊那市富県支所ふるさと館
- 【会場】 長野県伊那市の山林 中央道伊那ICから30分
- 【参加費】 16,200円
- 【定員】 限定6名様
- 【持ち物】 昼食弁当、飲み物、登山できる服装、歩きやすい靴、ノコギリ、剪定ハサミ、雨具
- 【申し込み期限】 11月14日

ココです



【申し込み・お問合わせ】 (株)マルイチ 安全対策室 担当:藤原祥雄まで

☐ 電話: **090-7282-3618**

メール: fujiwara@maruichi01.co.jp

【主催】 株式会社マルイチ **特伐マルイチ** 検索

弊社HPからもお申し込みできます。